

〈ご参考資料〉

サントリー食品インターナショナル株式会社

サントリー食品インターナショナル（株）の E S G活動について

サントリー食品インターナショナル（株）（以下 SBF）は、サントリーグループの環境基本方針にもとづき、グループと一体となり、環境経営を推進しています。

なかでも、グループ全体でサントリーの『水理念』^{※1}を共有し、「水と生きる」を「Promise／社会との約束」に掲げた企業として、水領域に注力した活動を推進しています。

※1 『水理念』について：<https://www.suntory.co.jp/news/article/12923.html>
<https://www.suntory.co.jp/company/csr/highlight/2017/mizu/index.html>

●グローバルに展開する水領域に注力した活動

- ・天然水の森での水源涵養活動（日本）
- ・「水を守り、育む」次世代環境教育である「水育」（日本・ベトナム）
- ・工場近隣の自然公園とのパートナーシップによる、森林保全活動（仏）
- ・南アフリカの小学校での水・環境教育プログラムのサポート
- ・ケニアの学校での安全で衛生的な飲料水提供活動へのサポート

●バリューチェーン全体で取り組む環境負荷低減活動

- 生産における水使用量及び、CO₂排出量削減の取り組み
 - ・工場での水のカスケード利用（節水）
 - ・工場でCO₂排出量の低い燃料への転換（重油から都市ガスやLNG液化天然ガスへ使用エネルギーを転換）
 - ・再生可能エネルギーの活用促進（太陽光・雪氷・バイオマスなど）
- 「2R+B^{※2}」戦略のペットボトル容器でCO₂排出量削減
- 共同輸送や効率的な輸送システムなどによる物流でのCO₂排出量削減
- 自動販売機での省エネ活動推進

※2 2R+B：リデュース、リサイクル、バイオ

●「2030年環境目標」とSBT認定

SBFはこれまでも環境負荷低減活動に積極的に取り組んできましたが、今回新たに「2030年環境目標^{※3}」を設定しました。この内、温室効果ガス（GHG^{※4}／CO₂）排出量の削減目標に対し、この度、「SBT（Science Based Targets）^{※5}イニシアチブ」から認定を取得しました。

これは、SBFが新たに設定したCO₂削減目標が、「パリ協定」^{※6}の「2°C目標」を達成するために科学的に根拠ある水準であると認められたものです。

※3 SBFの「2030年環境目標」は下記の通り。

事業活動において、環境負荷低減の2つの目標を掲げます。

①水

- ・「自社工場」のグローバルでの水使用量：15%削減^{※(1)}
 - －工場における製造設備・容器の洗浄や冷却に使用する水使用量を削減、水の再利用の推進など

②CO₂

- ・「自社拠点」のグローバルでのCO₂排出量を25%削減^{※(2)}
- ・自社拠点以外のグローバルな「バリューチェーン」全体でのCO₂排出量を20%削減^{※(2)}
 - －容器の軽量化や、再生素材や植物由来原料を活用した容器の推進
 - －国内最小電力量の自動販売機の積極的な導入

※(1) 2015年における事業領域を前提とした原単位での削減

※(2) 2015年における事業領域を前提とした総量での削減

※4 GHGは、green house gus の略。

※5 SBTイニシアチブとは、2015年にCDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の4団体が共同で設立したもので、産業革命前からの気温上昇を2°C未満に抑えるために、科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標達成を推進しています。

※6 パリ協定は、COP21で採択された気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定。世界の平均気温上昇を産業革命前からの「2°C未満」に抑え、温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとる必要があることが合意された。

以 上